

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	岩部 純子
主な担当科目	バレエ指導法演習③
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	バレエ実技の授業では1, 2年次は基礎力の強化、3, 4年次は更なる技術・表現力の向上を目標に、学生たち個々の技術レベルを鑑みつつ授業を行った。入学時の技術レベルにかなりの個人差があるため、グループレッスンではあるが各々が各自の課題を明確化し取り組めるよう授業を行った。また今年から受け持った講義科目については少しでもバレエに関する知見を広げ将来に役立つような知識をえられるよう努めた。
2024年の教育に関する自己評価	学生数の減少もさることながら、大学入学前から心身の不調、特にメンタル面で問題を抱える学生が増えており、安定した授業運営が難しいと感じることが多々ある。そのような中、しっかりと出席している学生が集中して取り組めるようにクラスを行った。講義科目については、急遽担当することになったため準備が不十分な部分があったと思うが、できるだけ映像や資料を用意し学生のバレエへの興味を引き出すことはできたように感じる。
2024年のFD活動に関する自己評価	各分科会では教員同士の意見交換を積極的に行うことにより、学生の動向をより細かく把握し授業だけではなく出席状況の改善などにも繋げることができた。
授業改善のために取り入れた研修内容	多様化する学生についての理解が深まり、授業内外での学生との接し方についての参考となっている。学生のモチベーションの低下を招かないような声掛けを心がけている。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2634 教員名:岩部 純子

1)アンケート結果に対する所見

担当している授業への評価としては概ね「思う」「少し思う」という評価であり、授業内容への理解は得られていると考える。実技授業であるバレエクラス、バレエ演習については、多学年合同で行うためレベルにばらつきがあるが、各々のレベルに応じた課題を明確に提示することで授業内での注意や指示に取り組みやすくなったように感じた。

2)要望への対応・改善方策

特別な要望はなかったが引き続きクラス全体への注意だけでなく個々のニーズに合うような授業運営に努める。また 24 年度より新たに受け持った座学の授業については自分自身の知識を増やし、学生たちがより興味を持てるように工夫していきたい。

3)今後の課題

集団で行う授業であるため、授業内でのレベル差の拡大が授業運用を難しくしている面がある。既にある程度の技術を修得している学生が退屈せずさらなる技術向上にむけてのモチベーションを維持できるよう、また授業についていけないと感じる学生を生み出さないような授業を行うこと課題である。

以 上